

# NANIWA 113 号

## 株主総会一週間総行動中間報告

京阪神分会は18日の神戸支店要請からの行動を始めました。JR元町駅で宣伝行動とビラ配布。大きな声で「東京海上に和解勧告」が出された事を道行く人に伝えました。

支店要請では、2府4県の担当者が10名も社員を玄関に引きつけていました。誠意のない対応は変わらずで、玄関で要請書を読み上げ、記憶した事を「支店長、本店に伝えよ」と言いました。元町駅、支店前でも、ビラの受け取りがものすごくよかったですと感じました。これは、地道にポスティングを行ってきたことと、このたたかいを世間が注目しているからだと感じました。神戸でも、多くの働く仲間が応援に駆けつけてくれました。ありがとうございます。

京都支店要請行動では、支店前でのビラ配布と宣伝行動にプラスし、宣伝カーが町の中を何周も回りました。道行く人に組合員がマイクを持ち、全員が変わるがわる、思いを述べました。

要請で支店側は「**お互いの立場がある**」「**社有施設で話せるものかどうかわからない**」「**社員の立場と違う**」と、誠意のない対応に終始。私たちは「支店から、地方から本社に声をあげていかないと、この問題は解決しない」と主張し要請は終わりました。

そして、三条大橋西詰めで、宣伝行動とビラ配布を行いました。学生街なので受け取りが悪いのではと心配しましたが、予備分まですべて配布できました。一番の宣伝は、鴨川に並べた「東京海上日動は外勤社員制度廃止をやめろ」の看板を多くの方に見てもらえたことです。橋の上からみんなで見たり、納涼床から眺めたり、河原で語り合うカップルが見たり、外国人の方は写真やビデオにおさめたり、2ヶ月早い大文字の送り火のような黄色の看板は、見る者に怒りを訴えました。学生の方の質問が多かったのも特徴でした。また、年配の方からは「いまだき組合なんて懐かしい。気合を感じる。頑張ってください」と、激励の言葉を多くかけていただきました。

株主総会に向けた西日本ブロック行動も、明日から全員が集まります。上京したときには、顔は黒く、声は少々かすれているかもしれませんが。しかし、眼光がするどくなっていることは間違いありません。

# 株主総会特集号

6月19日、「金融三争議」という位置づけでの一日行動が始まりました。まずは、淀屋橋の橋の上での宣伝行動 多くの金融に働く仲間が詰め掛けました。その後、近畿財務局に要請に行きましたが、大きな行動での要請は受けるが、小さな団体の要請は受け付けられないような態度でした。相変わらず、不誠実な対応をすと感じました。御堂筋総行動のときは腰を低くして要請を受けるのに、なぜなのでしょう？

次は、日産センチュリーのたたかいに行きました。新たな経営からの攻撃があったという報告を受け、いったいこの会社はどうなっているのだろうと感じました。昼休み時間にかかわらず証券金融に働く人たちがいっぱいかけつけてくれる姿に力強さを覚えました。

そして、東京海上日動社前行動となりました。60名がかけつけ小雨の中、各方面より連帯の挨拶を受けました。相変わらず玄関先で要請を受けると態度でした。しかし、みんなの真剣な訴えに担当者は「この問題を早く解決したい。思いもわかっていません」と答えました。私たちの要請を真摯に受け止めるよう再度時間をあけて要請に来ることを告げ、一時間後に再要請に入りましたが、支店側は「玄関先で要請を受ける」というところから一步も出ず、要請団が要請書を読み上げ、しっかりと本社に伝えるよう、言いました。

最後にAIGスター生命の要請に行きましたが、要請団の方々は口々に、「東京海上日動社の対応が一番ひどいな」と言っていました。

この日の締めくくりは、梅田ヨドバシカメラ前での宣伝行動になりました。ピラ配布と、車での宣伝でおおいに盛り上がりました。3000枚のピラも瞬間になくなりました。多方面からも争議団として、多くの参加をいただき、感謝申し上げます。また、京都のOBを中心としたカンパをいただきこの場でお礼申し上げます。ありがとうございました。明日からまた、がんばっていきます。

全損保日動外勤支部大阪分会